

日本火山学会 2013 年秋季大会 学生優秀発表賞の表彰

2013 年 9 月 29 日～10 月 1 日に福島県猪苗代町で開催された日本火山学会 2013 年秋季大会における学生優秀発表賞の受賞者が以下の 4 名に決まり、大会最終日に井口正人副会長から表彰状と副賞が授与されました。

学生優秀発表賞は、学生会員が発表する口頭またはポスター発表を対象に、大会委員会で依頼した審査員による公正な審査を行ない、その中で特に優秀な研究発表を選考し表彰するものです。今回は審査を希望した口頭発表 16 件、ポスター発表 12 件、合計 28 件の学生会員の発表を 22 名の審査員が審査しました。

学生会員の皆さんには、来年度の優秀発表賞の受賞をめざして、立派な研究成果を発表することを期待しています。

―受賞者および研究発表題目―

- 柳田 泰宏（東北大学大学院理学研究科）
一ノ目淵マールにおける下部地殻捕獲岩の熱履歴
- 無盡 真弓（東北大学大学院理学研究科）
噴火様式を記録するナノライト：新燃岳 2011 年噴火の例
- 松本 恵子（東北大学大学院理学研究科）
桜島大正噴出物中の硫化物の酸化反応：組織の多様性と噴火様式との関係について
- 潮田 雅司（東京工業大学大学院理学研究科）
斜長石斑晶-メルト平衡から見た島弧玄武岩マグマの含水量



(左より) 松本恵子さん、
柳田泰宏さん、無盡真弓さん



井口正人副会長から授賞される柳田泰宏さん



研究室にて賞状を受け取った
潮田雅司さん